

タブレット導入にあたっての確認

○使用できる場面について

- ・「授業中」…カバンの中スタート。先生の指示でタブレットを出す。(タブレットは手段であって目的ではない。タブレットを使わない授業だってある。まずは先生の話と授業を優先しよう。)
- ・「朝・休憩中・放課後」…(必要があるときに限って) 使用しても良いが、席に座って使おう。
- ・つまり、「授業までには一旦かばんにしまおう」「使わないときもかばんにしまおう」

○マウス、イヤホンの持ち込みについて

- ・マウス、イヤホンともに、導入段階では許可しない。(紛失トラブルを防ぐため)
- ・タブレット活用が進んでいく中で、必要に応じて生徒会とともに一緒に考えていきましょう。

○タブレットの持ち帰りと充電について

- ・タブレットはかばんに入れて毎日持ち帰り、毎日持ってくる。
※タブレットは文房具。AIドリル「Qubena」を使う授業も増えてきます。
- ・持ち帰る際、必ず黒色のカバーに入れる。(タブレットを閉じていても、かばんの中で画面が割れるということが起こっています。)
- ・家で必ず充電をしてくる。学校での充電対応はしません。

○持ち帰り時の防水対策について

- ・水筒と同じカバンに入れない方が良い。
- ・雨の日は、黒色のカバーの上から、さらに自分のビニール袋をかぶせて持ってくると良い。
- ・万が一、タブレットが濡れた際は、発火の恐れがあるので絶対に電源をいれない。

○ACアダプター(充電器)の持参について

- ・充電器は学校には持ってこない。家で100%の充電をしてくれば1日の授業は大丈夫。

○教室内での保管場所

- ・登校したら、バッグ(メインバッグ、サブバックは問わない)に入れて、「個人で」保管。
- ・机の中に入れっぱなしにしない。掃除のときに落ちて壊れる可能性がある。

○移動教室での使用について

- ・先生から何も連絡がなければ、移動教室先には持って行かない。(連絡があったときだけ)

○タブレットそのものを忘れた/充電を忘れたときの対応

- ・先生の指示で、授業でどうしても必要になった瞬間に職員室に予備機を借りに行く。
- ・職員室の先生に声をかけ、「タブレット貸出届け」に記録してもらい、タブレットを受け取る。
- ・その授業が終わったら、すぐに職員室に返しに行く。

○使用上の最低限のルール、モラルについて

- ・みんなの意見をまとめて作った「タブレット使用の3ヶ条」を大切にしましょう。

1. **人のタブレットは使わない**
2. **元の設定を変えない(借り物であることを忘れない)**
3. **先生の話・授業を優先し、メリハリをつけて使用する**